

学外学修・キャリアセンター NEWSLETTER

Off Campus Times

目次

編集部より	1
第2タームプログラム実施報告	2～4
学外学修・キャリアセンターからのお知らせ	4
学外学修・キャリアセンター利用案内	4

編集部より

2025年は、以前から継続で実施いただいているプログラムに加えて、新たな企業・団体様にご協力頂き、初めて行うワークショップやインターン等を複数開催しました。理系の1，2年生を主な対象とした2つのワークショップ（ブリヂストンソフトウェア、Waffle Collegeキックオフ）では、1日の開催という参加しやすさもあり、合わせて70名の学生が参加しました。海外にも活動は広がり、イオンフィナンシャルグループによる職業体験付実習、マレーシア日本国際工科院サマープログラムに参加した学生は、多民族・多文化社会であるマレーシアで様々な学びと交流の機会を得ました。

企業様と連携して行うインターン・PBLでは、今年度から参加させて頂いた株式会社イシダのPBLも含め、全てのプログラムに1年生が参加し、企業や業界、職種について学ぶだけではなく、自分の強みや課題、働くことについて「自分ごと」で考える機会となりました。

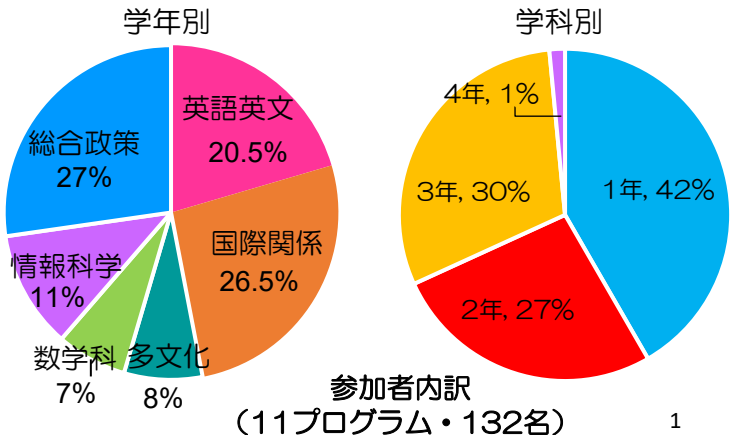
例年開催している2つのスキルアップ講座（プレゼン資料作成講座、アイデア発想ワークショップ）には合計123名が参加しました（うち82名が1年生）。これらの講座を通して、インターンなどの学外の活動のみならず大学の授業でも活用できる「ロジカルに資料を組み立てる」「アイデアを生み出す」といったスキルを習得することができました。

9月は履修申請をして活動した学生全員と事後学習を行いました。事後学習は、国内外の様々な活動に参加した学生が集まり、経験したこと・学んだことを互いに発表し、振り返りを深めることを目的としています。学生たちは他者と自分の経験に共通する点や異なる点などを話し合うとともに、経験を学びに変える「経験学習サイクル」の大切さについても学びました。

学外学修での経験・出会いは、将来を考えるうえでも 学生生活を充実させるうえでも、大きな意味のある経験であると思います。学生が自分らしく一歩を踏み出し、大学生活の充実やキャリア形成に繋がられるよう、学外学修・キャリアセンターは今後もサポートしていきます。

最後になりましたが、この夏のプログラムにて本学の学生を受け入れ頂いた企業・団体の皆様、温かくご指導・ご支援をいただきありがとうございました。

第2タームプログラム実施報告



学外学修・キャリアセンター主催の「津田塾プログラム」を11プログラム(国内8、海外3)開講し、合計132名が参加しました。低学年の参加が多く、1・2年生が、全体の69%を占めました。

このほかに「プレゼン資料作成講座」、「アイデア発想ワークショップ」、1Dayプログラム（プログラミング研修及びIT企業によるワークショップ）、「1，2年生のための就職基礎講座」、大学紹介プログラム・自己開拓プログラムに参加して履修申請した学生も合わせると、合計468名がこの夏、学外学修・キャリアセンターが関わるプログラムに参加したことになります。

学外学修・キャリアセンター主催プログラム

日本航空PBL（課題解決型学修） “つながり”を生み出すJALの新たな事業を提案

社会課題の解決策としての地域活性化について、JALの新たな事業を提案するPBL。24名が参加。1日目は羽田地区を訪問しオペレーションセンターや格納庫等の施設を見学。
2・3日目は千駄ヶ谷キャンパスにて開催。

大学Webサイトに
実施レポート掲載



〔参加者の声〕

- ・企業理念に基づく事業を考案したことで、就活など自分の将来への考えが深まったと同時に、共同作業の重要性を知ることができた。
- ・自分自身への理解がより具体的に明確になった。自分の強みと今後改善すべき課題の両方をより客観的に捉えられるようになった。

株式会社イシダ PBL（課題解決型学修）

はかりの世界トップシェア企業イシダによる5日間プログラム。食品業界とイシダの事業について学び、社員になりきり課題解決を提案する。18名が参加。



〔参加者の声〕

- ・職業体験ワークを通じて、職業理解が深まり、自分の得意不得意が理解できた。
- ・商品企画の進め方や営業活動における工夫を体感できたことにより、具体的な理解を深めることができた。
- ・数学的な専門性とコミュニケーション力の両立を意識して、今後の学びに取り組んでいきたい

三菱電機 国際本部 インターンシップ

三菱電機が取り組むグローバル事業の事業分析を行い、分析に基づく戦略立案、課題解決提案を行う9日間のインターンシップ。最終日には英語でプレゼンテーションを実施。



〔参加者の声〕

- ・物事の本質を捉えて、ビジネスモデルを作成したり、戦略立案を考えたりすることの難しさを感じた。
- ・自分なりのリーダー像がわかったことで成長できたと感じた。
- ・社員の方から海外渡航経験の話を伺い、挑戦する勇気的重要性を学んだことで、私自身が考えている留学がより現実的なものとなった。

パソナ・グループ インターンシップ

人材派遣会社パソナグループでの10日間のインターンシップ。同社の「人を活かす」様々な事業での就業体験やリサーチ等を通じ、大学での専門領域の拡大・深化を図るとともに、ビジネスマナーやプレゼンテーションについての講座も実施。



〔参加者の声〕

- ・AI・ITの知識が全くなく、仕事をする上では大学時代の専門以外のことも学ぶ必要があると身に染みて感じた。普段逃げていた理系科目も大学生のうちに少しずつ学びたいと感じた。
- ・インターンを通して仕事の大変さを越える楽しさややりがいがあることを知り、人は仕事をすることで成長でき、高めあっていけると認識できた。

JTP株式会社 インターンシップ

ITエンジニアの補佐として、実際に現場の先輩社員と業務を体験する9日間のインターンシップ。過去にはソリューション開発プロジェクト、レコメンド系 AI 調査、LINE アプリ開発、ChatGPT に関する調査等を実施。今回はAIを活用したソリューション開発の業務を体験。



〔参加者の声〕

- ・自分のアイデアをもとに、AIを利用したサービスの形を考える過程は刺激的で、AIの応用的活用方法を実感した。
- ・IT業界の全体像を把握し、漠然としていた将来のキャリアパスを明確にする貴重な機会だった。

富士通グループ Job Experience 5days Workshop

富士通グループによるオンライン5日間の業務体験プログラム。ICT業界や、SE、IE（インフラエンジニア）等の職種を理解し、自分の適性・志向を見つけられるワークショップ。



〔参加者の声〕

- ・SEやIEの業務イメージの解像度が高まり、具体的な仕事内容や社会における役割をより深く理解することができた。
- ・SEの仕事には技術力だけでなく、課題を整理する力やチームでのコミュニケーション力が必要であることを学んだ。
- ・大学での授業やゼミ活動の中でも、相手に伝わりやすい説明を心がけたり、主体的に意見を出す姿勢を大切にしたい。

学外学修・キャリアセンター主催プログラム

米国NPO法人JCW
インターンシップ

本学OGが代表を務めるJCW（Japanese Career Women）のオンラインインターンシップ。非営利団体の活動を理解し、JCWメンバーと共に広報やイベント企画・運営、資金調達に関する提案などの業務を通じて、グローバルに働くキャリアウーマンの仕事やNPOの事業を理解する。



【参加者の声】

- ・イベント運営業務に最後までチームで協力して取り組むことができた。イベント運営の難しさを感じ、それに関する解決策についても仲間と一緒に考えることができ、成長につながった。
- ・初リーダーの経験から色々と課題が見つかったので、今後の大学生活でもっとリーダー経験に挑戦し、経験を増やしたい。

ワーク＆ライフ インターン

キャリアだけでなくライフの側面からも将来を真剣に考えるワークショップ形式のプログラム。就活に直面する前に自分の将来像をより具体的に描く。今年度は日立システムズ様のオフィスを訪問、卒業生の社員の方からお話を伺う。ご家庭での子育て体験実習も実施。



【参加者の声】

- ・今後の人生色々な道があって正解はないのだということ、キャリアの多様性を感じた。
- ・自分自身を知れたこと、自分の将来に対する不安やネガティブなイメージがプラスに変わったことがとても印象に残った。

イオンフィナンシャルサービス
国内・海外職業体験付実習

国内外で小売業や金融サービス事業を展開するイオングループでの10日間のプログラム。国内・海外の小売りの現場訪問や職場体験を通じて、イオンの金融ビジネスを学んだり、新たなサービス等の提案を実施。



【参加者の声】

- ・事業提案という実践的な活動を通じて社会人としての基本姿勢を学びながら「顧客に寄り添う」という姿勢の重要性を体得できた。
- ・金融の基礎知識や小売と金融の連携、イスラム金融を含む異文化理解など、多くの学びを得ることができた。

マレーシア日本国際工科院（MJIT）
サマープログラム

マレーシア日本国際工科院（MJIT）で開講されるサマープログラム。英語でマレーシア文化やSDGsについて学んだり、現地の学生との交流機会を通じて、英語でのコミュニケーションや多文化理解を学ぶプログラム。



【参加者の声】

- ・英語・文化・エンジニアリングの三分野に分かれ、それぞれ特色ある学びを得ることができた。
- ・授業での活発なグループワークやプレゼンに加え、MJITのバディーや学生同士との交流を通して異文化を体験できた。
- ・自分と全く異なる国籍や宗教の人と話して、考えが広がった。

国際労働財団（JILAF）タイ事務所
インターンシップ

労働分野における国際交流と協力を推進するNGO・NPO組織でのインターンシップ。国際労働財団タイ事務所での業務補佐の他、自主的な調査も可能な約1か月にわたる長期インターンシップ。



【参加者の声】

- ・現場で人々の生活や課題を目の当たりにしたことは衝撃的であると同時に、机上の学びでは得られないリアルな理解につながった。
- ・各村の村長に移民労働者とタイ人の間にある問題について尋ねた経験は、自ら行動することで学びが深まることを強く実感した経験であった。

【第2ターム開講科目】
1、2年生のための
就職基礎講座

大学Webサイトに
実施レポート掲載
1.2

女性が働く環境やキャリア形成について学び、これからの学生生活の過ごし方について「学生生活ロードマップ」を作成するキャリア授業。初回は日経クロスウーマン編集委員の小田舞子さんに『私はどう思う？』を軸に生きる」と題した基調講演を頂いた。その後、民間企業・公務員・教員として働くOGや、大学院に進学したOGの講話を聞き、自分の将来と学生生活を描くワークを実施。



ブリヂストンソフトウェア
1 Day Program

ブリヂストングループにシステムを提供している同社で、SEの上流工程の業務体験や、情報サービス業界について学ぶ1日ワークショップ。今年度初めて実施。女性社員の方々と座談会も実施。



〔参加者の声〕

- 要件定義ワークを通して、システムを作る上でユーザーへのヒアリングの重要性を実感することができた。
- IT業界について知ることができたので、今後は学内でデータ系の授業を取ったり、自分でIT関連の資格の勉強を進めていきたい。

Waffle College
キックオフ

Webサイトに
実施レポート掲載

NPO法人Waffleが主に女子大学生向けに開講しているプログラミング研修をキャンパスで開催。自己紹介のウェブサイト作成にチャレンジ。本プログラムの企業パートナーであるキンドリルジャパンより本学卒業生も2名参加し、キャリアトークを実施。



〔参加者の声〕

- ほとんど初めてプログラミングコードに触れることができたため、印象深い経験となった。IT業界への興味が深まった。
- 1日だからこそ気軽に参加できたり、将来の就職先として視野を入れることができるくらい魅力的なプログラムだった。
- 3タームから始まる統計学でより学びを深めていきたい。

学外学修・キャリアセンターWebサイト

プログラムや講座の実施レポート、卒業生・在学生へのインタビュー記事、学生による体験談などを掲載しています。

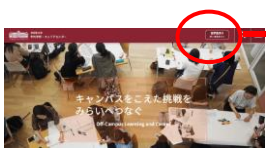


<https://offcampus.tsuda.ac.jp/>

<在学生向け>
【学外学修・キャリアセンター利用案内】

◆在学生向けポータルサイト

学外学修・キャリアセンターWebサイト、TsudaNetからアクセスできます。プログラム募集情報、学外学修の手続き、キャリア支援に関する情報を掲載しています。



学外学修・キャリアセンター
Webサイト



◆在学生向けメーリングリスト

プログラム情報やセンターからのお知らせをタイムリーに配信しています。急募や追加募集などはメーリングリストでのみお知らせしています。

登録フォームはこちら↓



※登録は大学のメールアドレスのみ

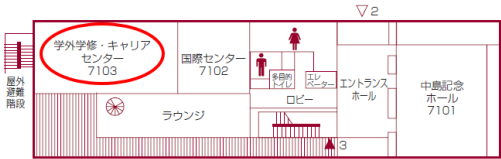
◆学外学修・キャリアセンター窓口について

場所：小平キャンパス7号館 1階 7103
千駄ヶ谷キャンパス 1階 SA107
開室時間：9:00-16:00(お昼休11:15-12:15)

お問合せは、問合せフォーム(右記QRコード)からお願い致します。

面談はオンライン・対面にて主にお昼休みに実施しています。
フォームからお申込みください。千駄ヶ谷キャンパスも同様です。

問合せフォーム
(面談予約)はこちら↓



小平キャンパス 7号館